

環境と調和した農業用水のさまざまな節水活動

周辺環境の保全や省エネルギー化を推進するためにさまざまな節水活動に取り組まれています。

滋賀県の農業用水は琵琶湖、ダム、河川、ため池などから取水しています。特に、農地の約4割が水源としている琵琶湖は、生きものの生息の場であるとともに生活水の重要な水源でもあるため、水環境を保全する必要があります。

また、琵琶湖の水を農業用水に利用するためにはポンプで送水する必要があり、多くの電力が掛かります。そのため、電力料金の高騰は農家負担の増大に繋がることから、農業水利施設の管理にあたっては、さまざまな節水活動や省エネルギー化を進めることで、電力料金高騰の影響の緩和を図っています。

●節水活動の例

ポンプによる送水量の削減	➡	降雨量に応じてこまめな送水量の設定や 状況に応じて夜間送水の停止
番水(日別ブロック別配水)の実施	➡	日ごと(例えば隔日)や地域ごとに送水
排水の用水への反復利用	➡	排水を用水として再活用し、 ポンプによる送水量を削減
普及・啓発の強化	➡	農家の方々に掛け流しの抑制や漏水対策の呼びかけ



啓発のぼり旗
(愛西地区)



啓発チラシ
(日野川地区)



●省エネルギー化・コスト削減の取組

区分	省エネルギー化	コスト削減
ソフト対策	・ポンプの吸入／吐出水位の見直し ・大口径ポンプの優先使用 ・無効送水の削減 ・節水による送水量の削減	・電力契約の適正化 ・ポンプの同時運転台数の削減等
ハード対策	・電動機制御方式の見直し(インバータ制御の導入) ・高効率電動機への更新等	・コンデンサ設置による力率の改善等

ハード対策の例
高効率電動機への更新による
省エネルギー化(大中の湖地区)

